

# MASセミナー 第10回

「シェア(分かち合い、共有)が  
美しい街をつくる？」  
「シェアハウス・シェアオフィスを楽しむ」

2013.05.18 (土) PM 1:30 ~  
JIA建築家クラブにて



建築家 中山 隆一



日本建築家協会 関東甲信越支部 港地域会

## ヨーロッパでのシェアとくらし

シェアとくらしで思い出すのは、20世紀の芸術家の多くが暮らしたというパリ、モンマルトル。あの洗濯船と言われた安アパート。ここでの共同生活。それはその後、世界に羽ばたいたエコール・パリの人達のすまいでもある。ピカソをはじめとする芸術家達が、パリの高揚した空気の中で夢を語っていた。また、映画スパニッシュアパートメント。主人公の留学先がバルセロナの安アパートで、そこでの生活もまさにシェアハウスの極端な例でしょう。他人との共同生活。様々な意味で影響し合うのは当然ですが、問題はその中での自己の発見と、ある時の自身の確立でしょうか。



今井 均

## 日本人の本質が問われている

「皆で一緒に仲良く」が日本人には合っているが、この百年、外圧や輸入文化のおかげで、「自我」や「個人意識」も大きく芽生えた。ところが、これらを整理して日常生活規範にするところまではしていない。このため、「シェアハウス」のような新しい住まい方の導入は、この「仲良く」と「個人」の切り分けをどうするか、どこに置くかが試されることになるリトマス試験紙となるだろう。どういう人選にするのかを含め、そこをうまくまとめないと運営が難しいだろうが、逆に人間関係形成の新しい実験場ともなりうるだろう。



大倉 富美雄

## シェアとしての住居の可能性

「所有からシェアへ」と言われたのはいつごろからでしょう。経済の停滞、人口減少、環境問題など、この機運をおす社会状況はいろいろあります。ある調査によれば共有しよと思うもののトップは自動車、住居は9番目に位置しています。はたして住居をシェアするとは？ その可能性と限界を私たちの日々の暮らしやライフステージから一緒に考えてみませんか？



鈴木 理巳

## シェアの未来

3.11の大震災以降、シェアハウスがブームだという。人口減少、高齢化社会、無縁社会と言われる現代都市の状況で、生活の一部を共有することで生まれるアナログな人間関係は、貴重なものだと思う。日本は昔から狭い国土と住環境のせいで、路地や庭先、水路などを共有して、一緒に利用し管理する住まい方が、豊かなコミュニティーを醸成してきた。シェアハウスという若者向けのイメージだが、シェアの多様な選択肢を考えることで分譲マンションや戸建て住宅の作り方も変わってくればよいと思う。社会に向かって開かれた住まい、住まいの一部になる公共部が、町を豊かにし、人のつながりをつくるのだと思う。



田口 知子

## 宗教と家族の相違

A: 家を流された東北の親戚がおじいちゃんの家が集まり生活している。三家族の血縁関係にあるシェアハウスは、おじいちゃんという大黒柱がいておじいちゃんのルールに基づいて生活する。  
B: オウ○真理教は、お布施という名目で全ての財産を教団に捧げさせ、血縁関係にない者が宗教施設で共同生活をする。

AB両極端ではあるが、この相違と危険性を理解してシェアハウスは設計されているのだろうか。



田中 俊行

## 巣立ちのシェアとは？

「シェア」は経済的だし、思いやりもある。ランチを夫婦でシェアするのは会話も弾み楽しい。だが、「シェアハウス」は少し危険な楽園だ。独り立ちできない青年たちが「大人への脱皮」の一過程に体験する夢と希望と不安が交錯する空間である。居心地が良すぎると、ここから抜け出せない危険が潜む。だから、「社会に巣立つ空間」であってほしい。勇気を持ち独りで家族を養う決意を可能にする「大人への最終過程」になればと願う。



宮田 多津夫



## シェアハウスと現代

一口にシェアハウスといっても、若者、高齢者、シングルマザー、同じ職業や趣味の集まりなど様々である。そこには終の棲家のイメージはない。ある種のユートピアなのかもしれないが、血縁関係にこだわらない少し寂しげな陽炎のような印象がある。学生寮の延長が、社会人となっても続いている大人子供のイメージもある。かつての大家族、地縁血縁社会が色濃かった時代への憧憬なのかもしれない。人は人に依ってたつということなのか…



村上 晶子

## シェアする気持ちが街を美しくする

昔の街を思い起こしてみよう。道には七輪で秋刀魚を焼くおばさん、縁側で将棋をするお兄さん、玄関の前で鉢植えに水をやるおじさんがいた。そこには、醤油を貸し借りする関係があり、公と私の区切が曖昧で、場所や物、楽しみや悲しみを分かち合う(シェア)意識があった。そこにはゴミは無く、鉢植えの花が咲き、人の営みを感じられる温かい雰囲気があった。この良さを現在に活かしたい！ひょっとするとシェアハウスやシェアオフィスは萌芽事例？シェア……を考えると楽しくなる。



連 健夫  
(むらじ たけお)